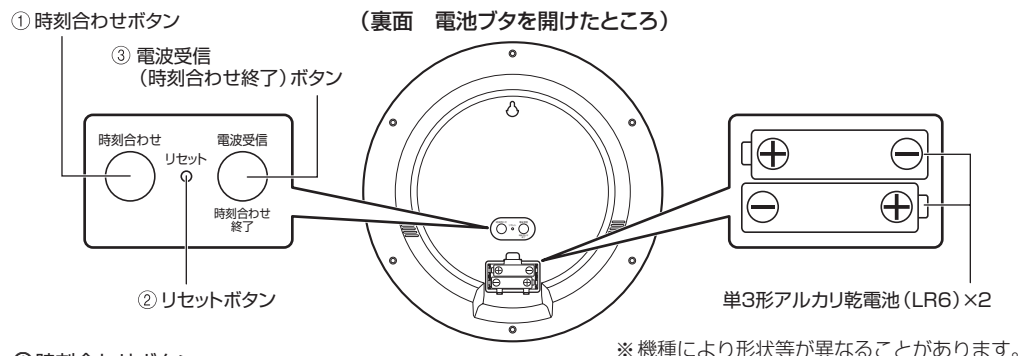
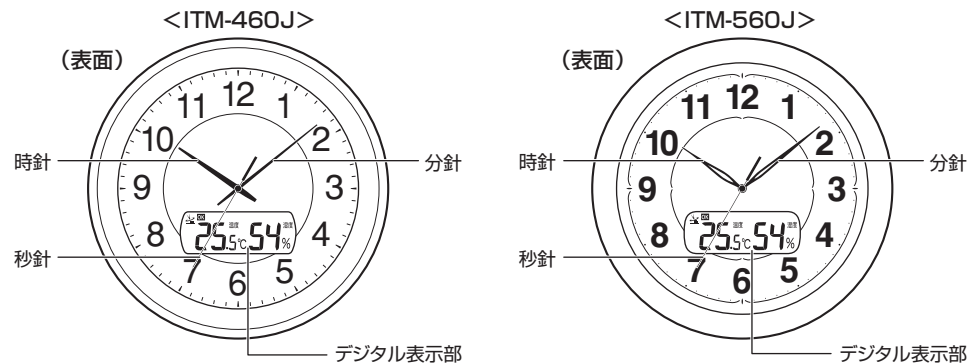


各部の名称と表示の見方

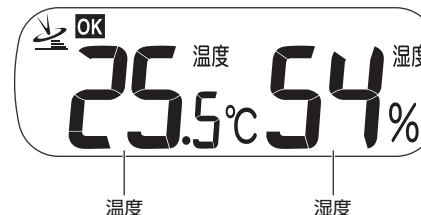
機種によりデジタル表示部に「表示用シール」をつけて出荷しております。ご使用前に必ずこの「表示用シール」を取り外してください。

※ITM-460JとITM-560Jはデザインが異なるだけで機能及び操作は同じです。



- ① 時刻合わせボタン
現在時刻を合わせるときに使用します。
- ② リセットボタン
電池交換後、必ず押します。
※ ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押ししてください（製品を傷つけないようご注意ください）。
- ③ 電波受信（時刻合わせ終了）ボタン
押すと電波受信を行ないます（手動受信）。時刻を合わせるときは「時刻合わせ終了」となります。

●デジタル表示の見方



●温度・湿度表示について

温度・湿度表示は時計に内蔵されているセンサーにより、時計内部の温度・湿度を計測／表示するものです。そのため、急激な変化が起きても、その温度や湿度を表示するまで（時計内部がその温度や湿度と同じになるまで）約30分程度かかります。なお、計測機能上、本機を冷・暖房器具の送風口の近くで使用しないでください。

- ※ 温度・湿度計測は毎分行ないます（ただし、電波受信中、時刻セット中は計測を中断します）。
- ※ 0℃未満、40.1℃以上でも温度計測を行ないますが、本機の保証範囲外となります。
- ※ 温度表示は-19.9℃未満の場合“LO”表示、49.9℃を超えた場合“HI”表示となります。
- ※ 湿度表示は20%未満の場合“LO”表示、90%を超えた場合“HI”表示となります。
- ※ 湿度表示は温度が5℃～45℃の範囲外では“—”表示となります。

電源について

- 本機は単3形アルカリ乾電池を2本使用します。
- 電池はできるだけ“カシオ指定の電池”または同等品をご使用ください。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

お願い

機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

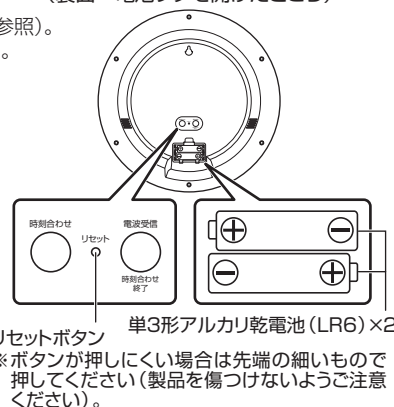
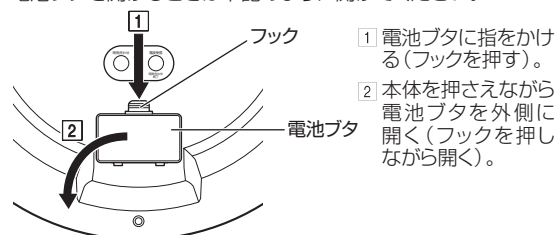
■ 電池交換のしかた（電池は全て交換してください）

（裏面 電池ボタンを開けたところ）

- (1) 電池ボタンを開け、古い電池を取り出します（「●電池ボタンの開け方」参照）。
- (2) 新しい電池の ⊕ ⊖ を間違えないように入れ、完全に押し込みます。
- (3) 電池交換後、リセットボタンを押します。
- (4) 電池ボタンを閉じます。

● 電池ボタンの開け方

電池ボタンを開けるときは下記のように開けてください。



リセットボタン
※ ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください）。

※ 機種により形状等が異なることがあります。

<ご注意>

- 電池の ⊕ ⊖ の向きは正しく入れてください。
- 電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。
このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。
 - ・誤動作（時刻やアラーム等のリセット、報音の停止、時刻狂いなど）することがあります。
 - ・液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
 - ・アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

* モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。

※ 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

本機の使用方 1

本機ご購入後初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行ってください。

※ 本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

1 電池を入れます (「■電池交換のしかた」参照)

本機裏面の電池ボタンを開き、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。

⇒ 電池を入れたと同時に時・分・秒針が「12:00 00」の位置に向けて自動的に動き始めます。

※ 針は正転方向(進む方向)に進みます(逆方向には進みません)。

※ 電池を入れても針が動き出さないことがあります。この場合には、リセットボタンを押すと針が動き始めます。

2 リセットボタンを押します (「リセット操作」)

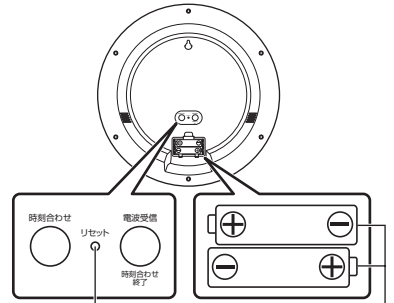
本機裏面のリセットボタンを押します。

⇒ 電池を入れた時と同様に時・分・秒針が「12:00 00」の位置に向けて自動的に動き始めます。

※ 電池交換を行なったあとは、必ずリセットボタンを押してください。

※ リセット操作が終わったら電池ボタンを閉じます。

(裏面 電池ボタンを開けたところ)



リセットボタン

※ ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください(製品を傷つけないようご注意ください)。

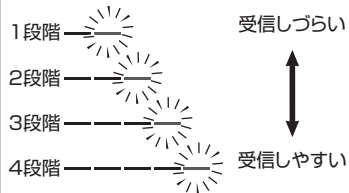
※ 機種により形状等が異なることがあります。

3 本機を使用したい場所に置きます

時・分・秒針が「12:00 00」の位置で停止すると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないます。窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。

※ 受信中は受信インジケータで受信状態をお知らせします (インジケータ機能)。

<受信インジケータ>



* 受信開始後、受信状態により段階的に変化します (4段階)。

* 受信しやすい場所でも4段階まで表示するのに約10秒程度かかります。

* 天候、時間、環境等により電波の状態は変化します。

* 受信インジケータは受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。

※ 電池投入後 (リセット後)、最初の受信のみアナログ針は12時位置に止まったまま行なわれます。

2回目以降の受信では、アナログ針を運針させたまま行ないますが、受信しやすくする為、多少ずらして運針します (1秒以内)。

※ 1回の受信は約2~16分間 (リセット直後は約4~16分間) です。

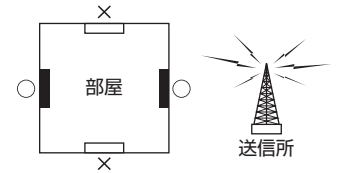
※ 受信中にボタン操作を行なうと受信を中断しますので、受信中はボタン操作を行わないでください。

<ご注意>

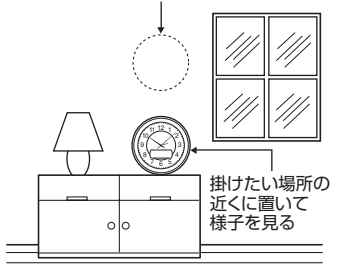
● お掛けになる場所は、窓側などできるだけ電波が届きやすいところに送信所と壁面の向きを考慮して選んでください (右図①)。

● 電波受信の様子を見る場所は、お掛けになりたい場所のできるだけ近くに同じ向きにして置いてください (右図②)。

図①



図②



本機の使用方 2

受信成功

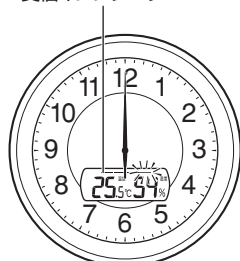
デジタル部…OK マークおよび 電波マークが点灯して受信成功をお知らせします。

アナログ部…正しい時刻の位置まで針が自動的に進みます。

- アナログ時刻が 1 分前で進んでいた場合は、その間針は停止します。
- 時刻修正が完了するまで、最大 3 分程度かかります。
- アナログ時刻の修正中は、手動受信は行なえません。

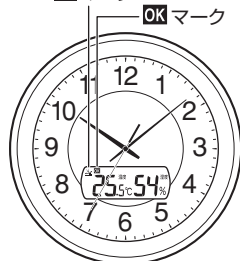
※ 受信終了後、テレビや電話サービス等の時刻と本機の時刻を照合してください。

受信インジケータ



<電波受信中>

電波マーク OK マーク



<時刻の自動修正中>

※ 正しい時刻の位置までアナログ針が自動的に進みます。

受信できない

…時刻修正は行ないません。

数分後に受信は止まります（そのままの時刻で運針されます）。

※ このときは、本体の向きや置き場所を変えて電波受信（時刻合わせ終了）ボタンを押して、もう一度受信開始させてください。

※ 電波受信（時刻合わせ終了）ボタンを押さなくても「2:01」になると再び自動受信を開始します。

※ 電波受信は午前 2:01、午前 3:01、午前 6:01、午前 10:01、午後 2:01、午後 6:01、午後 10:01 に行ないます。

●手動受信

電波受信（時刻合わせ終了）ボタンを押すと、電波受信が開始され、受信インジケータが表示されます。

※ 一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

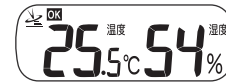
※ 電波受信が全くできない場合でも、月差 ± 30 秒の精度で計時します。

受信できない場合でも、翌日に電波受信に成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

4 1～2 週間電波受信の様子を見ます

本機は午前 2:01 / 午前 3:01 / 午前 6:01 / 午前 10:01 / 午後 2:01 / 午後 6:01 / 午後 10:01（計 7 回 / 日）に受信を行ないます。

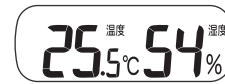
“電波マーク” が常に点灯している、または点灯しているときが多い



電波受信は良好

そのまま、その場所でお使いになれます。

“電波マーク” がまったく点灯しない、または時々しか点灯しない



電波受信しづらい

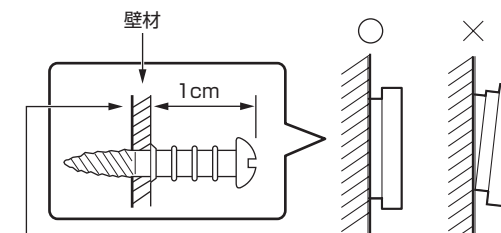
その場所では電波受信しづらいので、置き場所を変えてください。
その場所で使用するときは、ときどき受信可能な別の場所で電波受信を行なってください。

5 本機を取りつけます

※ 受信の様子を見た場所とお掛けになった場所で、電波受信に差が出る場合があります。

<時計の掛け方について>

- ネジを垂直な梁が通っている壁面または柱にしっかりネジ込みます。
- 下図の様に時計を正しい姿勢で取りつけます。



垂直な梁が通っている壁面または柱

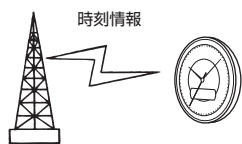
※ 図は機種により形状等が異なることがあります。



電波時計について

●電波時計とは

正確な時刻情報[日本標準時]をのせた長波標準電波(JJY)を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

●標準電波

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz)および佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」(60kHz)から送信されています。

この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

●電波の受信範囲の目安

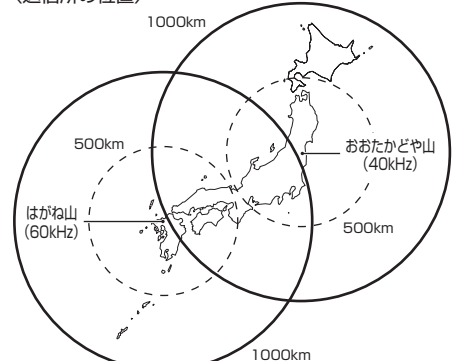
条件の良いときは、送信所からおおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。

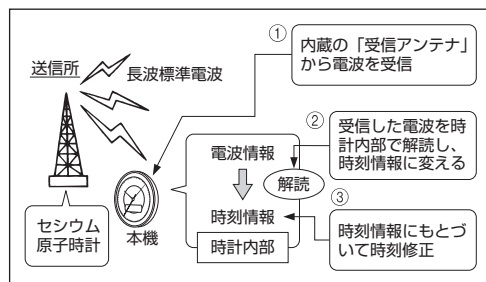
※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯(昼/夜)などによって受信できないことがあります。

※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

〈送信所の位置〉



●受信のしくみ



●電波受信について

本機は「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz)と「はがね山標準電波送信所」(60kHz)の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行います(自動選局機能)。通常は午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01に電波受信を自動的に行ないます(自動受信)。

※1回の受信は約2~16分間(リセット直後は約4~16分間)です。

※受信に成功すると、すぐに正しい時刻に修正されます。また、OKマークおよび⚡マークが点灯して受信成功をお知らせします。



OK マーク…最新の電波受信が成功していることを表します。

※次回受信時に消灯します。

⚡ マーク…1日1回以上、電波受信が成功していることを表します。

(正しい時刻が表示されているかどうかの目安になります)

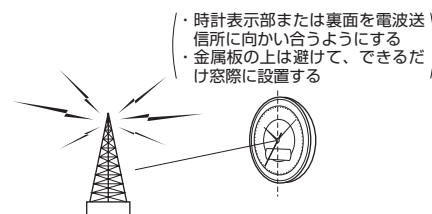
※ただし、受信成功していても午前2時と午前3時になると一度消灯します。その後受信成功すると、再び点灯継続します。

＜正しく受信するために＞

○電波受信できる場所でお使いください(「●使用場所について」参照)。

○本機を電波送信所方向に向けて、受信しやすくなります(本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になると、最も受信しやすくなります)。

最も受信しやすい設置のしかた



○受信中(受信インジケータ表示中)に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。なお、受信中に電波受信(時刻合わせ終了)ボタンを押すと、受信を中断します。

＜ご注意＞

○時刻合わせボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間に電波受信(時刻合わせ終了)ボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。

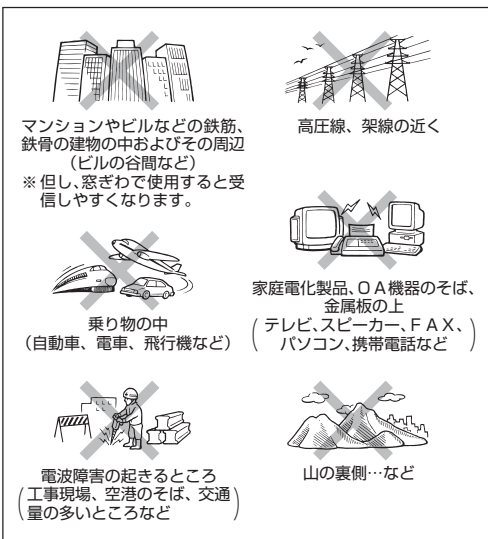
○電波受信を行なわない間は、月差±30秒以内の精度で計時します。

○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

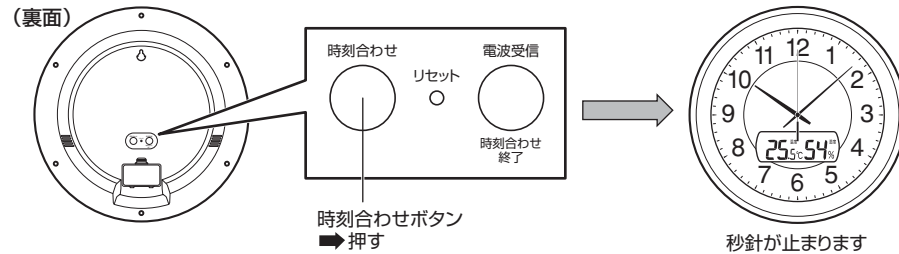


時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行ってください。
以下の操作で時刻を修正すると、修正後 24 時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

1 時刻合わせボタンを押す（セット状態へ切り替える）

秒針が 12 時の位置に来たとき、時刻合わせボタンを押します。
秒針が停止し、セット状態になります。



2 時刻合わせボタンを押す（時刻のセット）

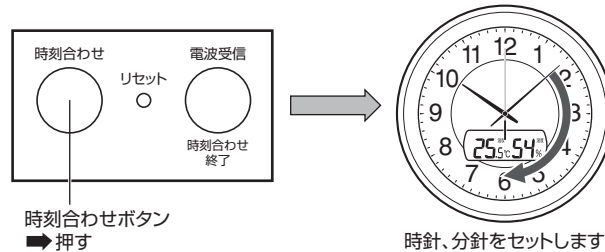
再度、時刻合わせボタンを押します。
分針が動き、時刻をセットすることができます（時針は分針に連動して動きます）。

1 回押します…1 分進みます。

約 2 秒間押し続けます…分針の早送りを行ないます。

※ 時刻合わせは 1 分程度進めて合わせます（秒合わせが必要な為）。

※ 本機は午前／午後の区別はありません。



3 電波受信(時刻合わせ終了)ボタンを押す（時刻のスタート）

テレビや電話サービス等の時刻に合わせ、電波受信（時刻合わせ終了）ボタンを押します。
秒針が動き出し、セットは終了します。

※ セット状態で何も操作をしないと、約 3 分後に自動的にセット状態を解除します。

